

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2017-169283(P2017-169283A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-50133(P2016-50133)

【国際特許分類】

H 02 K 21/22 (2006.01)

H 02 K 3/16 (2006.01)

H 02 K 1/22 (2006.01)

【F I】

H 02 K 21/22 M

H 02 K 3/16

H 02 K 1/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月26日(2019.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電機子コイルを有するステータと永久磁石を有するロータとを備えた回転電機であつて

、前記ステータは、

所定の間隔で配置される複数のステータティースを有する環状のステータコアと、隣り合う前記ステータティースの間にトロイダル巻された前記電機子コイルと、を有し

、前記ロータは、

前記ステータコアの軸方向の少なくとも何れか一方の面側に前記永久磁石を内包するロータコアを有し、

前記ステータコアの径方向の内面側に配置され、前記ステータ側で発生した磁束に基づいて誘導電流を発生する誘導コイル及び該誘導コイルの巻かれた誘導コアと、

前記永久磁石の周囲に配置され、前記永久磁石の磁束の一部を導く磁路部材と、

前記磁路部材に設けられ前記誘導コイルで発生した誘導電流に基づいて前記磁路部材に導かれる磁束の磁束量を調整可能な可変界磁コイルと、を有することを特徴とする回転電機。

【請求項2】

前記磁路部材は、

前記永久磁石に隣接する隣接部と、

前記隣接部とは分離されている分離部とを有し、

前記隣接部と前記分離部とによって、前記永久磁石の周囲で径方向に環状に形成されていることを特徴とする請求項1に記載の回転電機。

【請求項3】

前記可変界磁コイルは、前記分離部に設けられていることを特徴とする請求項2に記載の回転電機。

【請求項 4】

前記分離部は、前記隣接部とは径方向に分離されている第1の分離部を含むことを特徴とする請求項2または請求項3に記載の回転電機。

【請求項 5】

前記分離部は、前記隣接部とは軸方向で分離され、前記隣接部の径方向外側の端部から軸方向の一方側と径方向の内側に向かって順次延伸した形状の第2の分離部を含むことを特徴とする請求項2から請求項4の何れか1項に記載の回転電機。